

news

1

飯田町でおわら風の盆踊りを・・・

飯田町商店街で越中おわら節の町流しをはじめ今年で13年。

最初はお寺の落慶法要のひとつとして町流しを実施したところ好評で、以後お寺と商店街をつなぐ踊りのタベとして定着、毎年見物人も参加者も増えてきています。

八尾の聞名寺講中の方々が参加、指導をして下さっていますが、飯田町は八尾の風情と似ているとか。

たまたま雨が降って町流しが中止になった深夜、雨が上がった街中を胡弓の音が聞こえてきて何ともいえない郷愁を感じる趣でした。



我が飯田町商店街はというと、その当日、商店街の中心アイアイパークでテントを張って、焼き鳥、うどん、飲み物の店を出します。これは実行委員会からは是非にと頼まれ毎年頑張っておりますが、町流しがアイアイパークへ到着して輪踊りなどをする頃には目の回るような忙しさです。毎年10月の第一土曜日に開催しており、その頃は夜ともなると冷えてくるので熱々のうどんは大変好評です。少し大変ですが町のにぎわいのために会員一同老骨にムチ打って頑張っています。

来年は皆様もいかがですか、飯田町へおわらを見に・・・。

飯田町商店街協同組合 竹田 妙子



news

2

おとそい 珠洲飯田町商店街で

「食祭 珠洲 まるかじり」～能登の先っちょ・冬ごっつお～

おいしいイベントが大盛です。プリヤメギス、海藻などがふんだんに入っただんご汁や酒かす汁の大鍋コーナー、能登杜氏の新酒コーナー、能登牛やかき・ホタテなどのバーベキューを楽しむコーナーなど食祭一色、盛大に盛り上がります。

大浜大豆(幻の大豆)を使ったわらづと納豆や海洋深層水仕込みの豆腐、秘伝みそ、能登大納言小豆を使ったオリジナル商品「姫どら」「あ珠き」が販売されます。「かあちゃんの店」では、手作り食品・料理が所狭しとならびます。

昨年好評のあった食談交流会も検討中です。珠洲の食文化を存分に楽しむことができますよ!!

日時 平成20年2月24日(日) 場所 珠洲飯田町商店街で

イベント情報

商店街名	イベント名称	開催日時	内容
輪島市本町商店街振興組合	年末年始 お楽しみ抽選会	12月1日 ～1月5日	お買い物500円で1個の押印。10個(5,000円のお買い上げ)で抽選ができる。当選は1万円、500円の本町サービス券(多くの方が当たるように配慮) ハズレ券なしのサービス ハズレ20個連続で1万円券進呈 正月三日間は福豆でダブル抽選する。
	冬・味まつり ～冬の輪島を 美味しく焼こう～	平成20年 2月9日(土) 10日(日)	「午後市」開催。焼き焼きコーナー、アトラクションなどあり冬の輪島を存分に味わえます。
七尾中心4商店街 駅前通り 中央通り 一本杉通り 東部	年末年始 お客様感謝祭	12月中旬 ～1月中旬	年末年始大売出し、空くじなしの抽選会ですてきなプレゼント
山代温泉通り商店街振興組合	初笑い市	平成20年 1月12日(土)	商店街は歩行者天国。格安で海鮮ながふるまわれず。おたふく特製福袋で新しい年を!

＜珠洲飯田町商店街は頑張ってます＞

- ・金沢木倉町商店街との交流が実を結びました。
金沢市中心商店街木倉町など4商店にアンテナショップ開店。地元の食材の魅力、質の高さを発信し、「旬の食材」を「今週のメニュー」として紹介・販売するものです。
- ・珠洲市商業振興基本条例(平成19年4月1日)が施行されました。
店舗面積300㎡を超える「特定小売店舗」として新設・増設する場合事前の届出が必要となりました。
地域社会の一員としての責務として事業者の商店街等の加入、地産地消の推進、地域社会活動の参加、協力などの地域貢献策が求められています。
- ・珠洲飯田港-佐渡小木港 チャーター高速船「あかしあ」が初便。
カーフェリー「かもめ」以来、佐渡航路復活。観光交流が期待されています。
- ・全国初、循環型社会のモデル事業としてバイオマスメタン発酵施設完成。
下水道汚泥、生ごみなど5種から発生するメタンガスを熱エネルギーとして活用されるほか、処理残物を乾燥させ肥料(熊谷1号)として市民に無料還元されることになりました。
- ・交流居住のススメ(総務省・空家情報サイト)、週間アクセスランキング北陸第1位(全国14位)。
「珠洲の暮らし体験支援事業」(珠洲市)をスタートさせており、首都圏郵便局ATM、窓口コーナーに無料封筒に「能登半島の先っちょで田舎暮らししてみんげ?」の広告を掲載し、珠洲田舎暮らしのよび掛けをはじめました。

TOPIC 1

能登半島震災からの復興にむけて

平成19年3月25日午前9時42分、私達にとって忘れることのできない大地震が起きました。この地震からの復興のために、石川県が国より支援を受けて、能登半島地震被災中小企業復興支援制度を設けていただきました。これは激甚災害を受けた一商店街に対する復興支援をするもので、今までに前例のない制度です。私達の商店街も1割以上の組合員が半壊・全壊の被害を受けこの制度の対象となりました。県・市よりアドバイスをいただき、この支援の受け皿となる復興委員会を立ち上げ、今後5年間の復興計画を作成しました。この支援を受けるにあたり委員会で取り決めたのは、支援がなくなった5年後には、何もできない、何も残らなかった、そうした商店街だけにはならないでおこうを合言葉としてスタートしました。



私どもの商店街は全国的に有名な輪島朝市に加盟しているお店が、九割近くもあります。復興支援の一部を使い、全国向けの旅情報誌でのPR事業・インターネットによる商店街情報発信・ラジオによるイベント情報発信・来街者に対するマップ作成・年末年始大売り出しを今年度中に実施する予定です。

9月には郡上市の方々が復興支援として当商店街に郡上おどりを披露するためにお出でになりました。輪島市民の方々に元気を出していただきたいと思い、虎之介太鼓・キリコ太鼓・御陣乗太鼓で盛り上げ、地元の三夜踊りの方々をはじめとし、市民の方々と共に郡上おどりを実施しました。午後6時～10時までの短い時間でしたが、五千人以上の参加があり、大いに復興の先駆けとなりました。その後、当商店街のおかめ会が郡上市を訪れ、今後も交流するきっかけを創ってまいりました。



10月には午後市を展開し、午後の活性化と午後における各店の新たな取り組みを模索しました。北國新聞の社説に取り上げられるほどの反響があり、今後の朝市について考える契機となりました。来年2月9・10日にも冬・味まつりとして午後市を実施し、全国旅情報誌にもPRしています。

これまで実施しようとして出来なかった事が、この支援で実現できるようになりました。しかし、これは自分達の力ではないことを肝に銘じながら、この支援を使い、自分達の能力がつくような活動をしたいと考えています。

今年から来年度にかけて金沢近辺に街づくりに匹敵する大型店が数多く出店します。これは能登全体の商店街にとって大変な脅威です。こうした状況を見つめたうえで、この支援を将来に向けてどのような商店街になればいいのか、どのような力をつけることができるのか、復興も含め将来の本町商店街活動に役立てたいと考えています。

輪島市本町商店街振興組合 専務理事 小浦 克彦

TOPIC 2

金沢ナイトウォーク

～幻想的な灯りとおもてなし～

まだ残暑の名残りが感じられる10月初旬の5日(金)～6日(土)の二日間、金沢ナイトウォークは今年で第3回を迎えました。今回は彦三緑地で今年から実施されたハープリコーダーのミニライブ鑑賞・主計町検番での三味線の練習風景見学・番音器館での自動ピアノ演奏という金沢のこの地区でしか体験することのできない企画をはじめあちこちのライトアップもあり金沢の文化の薫りがいっぱいです。



我々尾張町商店街振興組合では「老舗交流館」でお抹茶とお菓子のおもてなしのお世話をさせていただきました。「ようこそおいだすばすみすた」(ようこそおいでになりました)・「いんぎらあーっとしまっし」(ゆっくり休んでください)などの金沢弁が飛び交う中、観光ボランティア「まいどさん」のガイドのもと、二日間で約120人のお客様に訪れていただきました。

びっくりしたのは八割方が県外からの観光客で、もちろん今夜は金沢でお泊まりとのこと。市観光課の思惑とおお客様の要望が合致した新しい誘客だと感じました。今後ともこういうイベントを通して、金沢の歴史・文化をはじめとして、尾張町商店街の老舗の心意気をお見せしたいと思います。



尾張町商店街振興組合 理事長 高橋 徹

TOPIC 3

第39回七夕まつり写生大会

～七尾リボン通り・地域の子どもたちを育む～

今年3月25日(日)に発生した能登半島地震から3ヶ月余りたち、もとの生活にもどりつつありますが、我が七尾駅前通り商店街の各店においても大なり小なり地震の被害を受け、工事中の会員のお店もその影響があるように思われます。

能登半島地震に負けるな子ども達! 集まれ第39回七夕まつり写生大会は、7月2日(月)から通りに約30本、高さ7m位の竹に七夕飾りを飾りました。7月7日の七夕の日と重なり、子ども達にとって思い出の日となりました。梅雨の最中でありましたが天候にめぐまれ、多数参加のもとで行なわれました。

毎年子ども達が入賞を願って楽しみにしている七夕まつり写生大会です。



七尾駅前通り商店街振興組合 理事長 大岩 利康

小売等役務商標の商標登録

出願の受付が始まっています

(平成19年4月1日から)

この改正法は、商品の販売に付随するサービスを商標法上の役務に含まれるものと位置づけられた結果、小売業者等が使用する商標を役務に係る商標として保証することができるようになりました。商品商標においては、商品ごとに登録が必要であったが、サービス(役務)マークとしての保護を受けられるため一括登録できるようになりました。

なお、地域団体商標制度は、平成18年4月1日から登録出願の受付が開始されています(地域ブランド化支援など地域経済の持続的活性化を促進するものです)。

第12回 松任獅子まつり
～見て、知って、感じて、獅子舞の古今東西～

10月7日(日) 千代尼通り商店街
<演舞会場> おおまち商店街特設会場

獅子舞は松任に伝わる民俗芸能の代表格です。

その継承と発展の願いをこめて、今年も松任獅子舞連盟より8団体が演舞を披露し、毎年恒例の獅子鍋や獅子まつり御神酒、おもちゃが振舞われ、金城大学ダンス部も参加。各商店街のおかみさんは屋台コーナーに模擬店を出し、数多くのお客さんが見えられました。



●参加した8団体は下記のとおり！！

- | | |
|--------------|-------------|
| 東町獅子舞保存会 | 八ッ矢町獅子舞保存会 |
| 布市町子ども獅子舞保存会 | 上柏野町獅子舞を守る会 |
| 石同新町獅子舞保存会 | 松本町獅子舞保存会 |
| 笠間獅子舞保存会 | 平木町獅子舞保存会 |

第7回 千代尼通りアートフェスティバル
～千代尼通りの出会いと交流～

10月6日(土)～14日(日) 千代尼通り商店街
(おおまち・中町・安田町各商店街)

☆アーティスト展(アートポイント各店で開催)
地元で活動されているアーティストの作品を展示！
展示会場を巡るスタンプラリーも開催しました。

☆アートへの挑戦

「アーティストと一緒にアートへ挑戦しよう！」と題して、今年は【カメラテクニック】【フラワーアレンジメント】【ビーズ携帯ストラップ】の3テーマにて実施され、多くの方が挑戦しました。



白山市松任商店街連合会

平成19年度

第1回 都道府県振連職員講習会(全振連)

平成19年6月7日(木)から8日(金)

金沢市(金沢ニューグランドホテル)で開催

金沢堅町商店街・片町商店街振興組合理事長による講演のほか、国が推進する商店街活性化施策の概要についての講習会が行われました。

1 講演「タテマチ商店街再興第2幕」

金沢市・堅町商店街振興組合 理事長 東川 庄一氏

- ①第1幕(インフラ整備)
 - 壁面線指定(S43.6)アーケード(S47.2)日曜歩行者天国(S47.8)多灯式街灯(S48.12)消雪装置(S49.2)自走式立体駐車場(タテマチパーキング)(S57.6)街路改造(S61.11)など
- ②第2幕(ソフト事業)
 - F M石川スタジオ・ティー(H10)タテマチモール化、多目的カメラ・ティーズアイ(H11.12)タテマチドットコム(H12.7)堅町広場・ティーズラボ・ティーズホール(H13.11)ティーズバス(H14)フラッグポール設置(H16)
- ③タテマチストリートの魅力
 - マチがきれい、若者がにぎわう街
 - ストリートがモール
 - 路面店と大型店(ファッションビルパティオ、OVAL、ベルセル)による独自ブランド化
 - 北陸No.1のファッションストリート
 - ITを活用した多目的街灯カメラ(ティーズアイ)設置
 - 様々なイベント開催
 - 初売り、X'MASセール、タテコレ、冬期イルミネーションなど
- ④タテマチのこれから
 - タテマチ卒業・ちょっと大人のタテマチ
 - ファッション以外の他業態・業種の導入促進による吸引力
 - タテマチドットコムによる個店情報発信
 - 時間消費型のマチ空間の創出
 - 空き店舗と出店情報一元化(ドリームプロジェクト)し顧客ニーズに沿ったリーシング方針の実現
 - 株式会社化による意思決定

2 講演「金沢の中心商店街としての役割」

金沢市・片町商店街振興組合 理事長 小間井 隆幸氏

(情報発信による集客)

- ①情報発信基地 Kanazawa Biz Cafe 設立
- ②HPを活用した情報発信
 - Kinpuku Com(福光町と連携サイト)開設
 - 片町の美人ママの動画片町メールマガジン会員に配信
 - e-katamachi 開設
 - 街のイベント情報、店舗・商品旬の情報、ショッピングサイト
 - 「金沢商店街物語」(金沢市商店街連盟)と連携したIDパスワード

による各店情報編集・発信

- 片町マエストロ 片町商店街一筋に培ってきた人を紹介
- Blogサービスを活用した店主・スタッフによるお店情報発信
- ③IT機器を活用した販売促進事業
 - 片町V!戦略 片町オリジナルシンボルロゴ製作
 - イベント事業
 - ・e-片町 金沢懐古鏡「トルカ」を使用した携帯電話による商店(代々保管の商売道具展示)街回遊
 - ・「片町メモリアルフォト」コンテスト。
 - 想い出写真の募集・作品はフラッグデザインとして活用
 - ・「片町シャンパンパーティ」ガーデンスタイルのパーティ・ジャズライブ
 - ・「オーラソーマ・カラーセラピー診断」(新年イベント)
 - ・「ニットカフェ in katamachi」編み物とティータイムを楽しむ
 - ・「片町メモリアルコピー&エッセイ」コンテスト
 - ストリートダンスコンテスト(金沢中心商店街まちづくり協議会(5タウンズ))
 - 片町、タテマチ、香林坊など5中心商店街によるまちなかの魅力をたかめる。
 - ・金沢5タウンズマガジン発刊 年2回 11万5千部(各街・街中配布)
 - ・金沢5タウンズ無料ショッピングタクシーサービス
 - ・イルミネーション一斉点灯
- (その他)
 - ・アーケード構想 モデルケース(ガラスのデザイン、高さを2階部分になど)、商店街活性化委員会に改装プロジェクト立ち上げ。
 - ・二次交通問題 まちなかのバス運賃ワンコイン化の推進など

3 国が推進する商店街活性化のための施策について

- 公的機能の充実施策
 - ものを売る場所→公的空間の場(子育て支援施設、社会教育の場、AEDの普及、早寝早起き朝ごはん運動。障害者自立支援の場として活用できないか踏み込んだ調査実施する。)
- 空き店舗対策 空き店舗オーナー実態調査、入れ替え促進(改装費補助)
- 基盤強化施策
 - ・財政基盤強化を図るため、ストリート広告(アーケードの吊り下げ広告など)規制緩和する。
 - 来年度以降収益事業としての広告事業が実施できるよう国交省に働きかけ、モデル事業設定する。(1次答申)仙台市、松山市は既実施。
 - ・人的基盤強化
 - 加藤・服部氏後の指導者・人材育成。2～3年間指導者を貼り付けた実地研修。

3 小田原市 内藤 英治氏 (NPO法人まちづくり応援団 常務理事)

人口20万人(1999年をピークに減少)。近年のモータリゼーションの進展による鉄道利用者の減少、小田原城の誘客力の限りによる観光客の減少、中心街の大型店撤退、郊外型大型店の出店などによりまちの活力低下と空洞化が起きている。

中心市街地の再生、商業の活性化に加え、公民協働による文化性、ライフスタイル、歴史や土地に根差したストーリーを掘り起こし、地域固有の付加価値「小田原らしさ」を自己主張したまちづくりを展開している。

○平成8年 小田原市新総合計画策定(総合計画市民百人委員会・公募)
・「ビジョン21小田原一世界にきらめく「明日の1000年都市」(平成10年)

・網屋「角吉」の保存(小田原宿なりわい交流館)(平成13年)

○平成10年 小田原市政策総合研究所設立(市と市民の交流)

・「東海道小田原宿千年蔵構想」(*1)を打ち出す(平成13年)

・「銀座情報プラザ」オープン(小田原銀座商店会)(平成15年)
市民と商店街の橋渡しの場、情報・話題が集まる場として中心市街地の賑わいを呼び込む

○「まちえんカフェ」開設(小田原銀座商店会)(平成17年 都市再生モデル調査)

メインストリートプログラム(*2)の社会実験。歴史や土地に根差したストーリーを掘り起こし都市の本質を自己主張するまちづくり。

○「高校生チャレンジショップ」(平成16年)

空き店舗活用、高校の「学習成果の実践の場」

○小田原TMO(商工会議所)

・中心市街地に点在する観光拠点を結びまちの回遊・まち歩き。
・回遊バスの実験。
・小田原ちようちん・旅名水の販売。

(*1)「おだわら千年蔵構想」による中心市街地の再生:

○小田原宿なりわい交流館(旧魚網井上商店)

「海のなりわい」の干物、蒲鉾、鮮魚などの案内拠点

○小田原街かど博物館

「なりわい交流の場」、梅干、蒲鉾、干物など15食品のものづくり体験。
・交通の要衝として千年以上「交流」発展してきた「なりわい産業」の発祥の地として、梅干、酒造り、蒲鉾、塩、干物、粟、饅頭などの産業が発展してきた。

小田原は活気あふれる「なりわい交流の舞台」

・千年にわたって「なりわい交流」の資産が「蔵」のなかに豊富に残されている。

小田原は資産とストーリーが蓄積

・まちなかに埋もれ、価値を発見することができなくなった状況を「蔵」に見立て、

「千年蔵」構想(ミレニアム・アーカイブ)とネーミング

・「なりわい交流」を再生し、時代にマッチしたものとし、本物のストーリーでまちづくりをすすめる。

「なりわい交流」のまちづくり

(*2)「MSP」とは:

アメリカにおいて、まちの活性化の特効薬として成果をあげている。機能しなくなったまちを再度社会資本として掘え直し、「歴史保存による再生」をもとに商店街を再構築するものです。(商売を替えながらも建物は保たれているところには、ストーリーがある。)そのため、次の4つの力をセットでアプローチすることが必要です。

①商店街の各店が一番輝いていた時代の、数に埋もれているストーリー探訪(まちなみデザイン力)

②優れた商品と店主(看板娘など)の活力(資産価値を高める)

③ストーリーに沿った効果的な情報発信能力

④商店街全体をサポートし、人・金・時間といった資源を有効に管理・決断する「役員組織」と活動を担う「市民組織」(TMOの手足となるNPOを育て・取り込みミニTMOをつくる)力

4 高岡市 菅野 克志氏 (高岡商工会議所 青年部長)

高岡の個性は、①万葉のまち、②前田文化のまち、ものづくりと歴史と技あるまちである。山町筋の例を取り上げると、昭和60年頃から土蔵・街並み保存の動きが少しずつ強化され、平成12年重伝建地区に指定された。3年後には、開町400年を迎えるが、豊富な観光資源が十分に活かされていない。山町茶屋(喫茶店)(2階ミニショップ)をオープンし休憩施設として活用され観光客の滞留を促進するなどの効果も現れている。継続した観光資源のPRについて、様々な団体と連携協働が必要である。

平成17年4月、TMOを商工会議所から末広開発株式会社に移し、組織充実のうえ中心市街地活性化強化をすすめている。

①TMOの事業強化

・「大仏ざりやく市」ざりやく市、ざりやく寄席

・「ヴィーブタカオカ」(商店街若手経営者団体) 広報など

・「高岡七夕まつり」、「日本海高岡なべ祭り」(市観光協会から)

・「まちなかギャラリー」

・まちづくり市民応援団と「ナンケソーレ」開催(市民・行政・店舗・企業・教育機関等連携の場)

・無料レンタサイクル(市観光協会と連携し、中心市街地での回遊性向上)

・情報発信「たかおかストリート」(中心市街地情報HP)

・空き店舗情報サイト

・公共交通機関お買い物共通乗車券販売

・たかおか街づくり協議会(市から)

・まちの駅ネットワーク高岡

・高岡市中心商店街活性化センター「わるんが」(御旅屋通り商店街の空き店舗活用の交流拠点施設)

②その他の活性化取り組み

・駅前地下街賑わい創出事業 えき地下夕市、ジョイントアートバトル

・まちづくり交付金事業 駅周辺整備、高の宮通り・坂下町商店街道路整備、モバイルサイト

・暮らしの道ゾーン事業 山町筋の無電柱化

所得税の確定申告、個人事業者の消費税・地方消費税の申告時期が近づいてきました

～自書申告・早期提出及び郵送等申告の推進～

◇申告と納税の期限

所得税は平成20年3月17日(月)まで

消費税・地方消費税は平成20年3月31日(月)まで

◇申告書はインターネットで簡単に作成できます。

国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「確定申告書等作成コーナー」をご覧ください。

◇「e-Tax」を利用し納税を。

ご利用にあたっては、あらかじめ電子申告等開始届出書の提出と電子証明書の取得等が必要です。詳しくはe-Taxホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。

◇平成19年分又は平成20年分においては、e-Taxを利用申告すると、一定の要件のもと、いずれかの年分で最大5,000円(その年分の所得税額が限度)の税額控除が受けられます。

平成19年分の課税売上高が1,000万円を超える方は、平成21年分の消費税の確定申告が必要となります。

○新たに課税売上高が1,000万円を超える方は「消費税課税事業者届出書」を速やかに納税地の所轄税務署長に提出してください。

○課税売上高が5,000万円以下の方は「簡易課税制度」を選択することができます。同制度を選択される場合は、平成20年12月末までに「消費税簡易課税制度選択届出書」の提出が必要です。

平成19年分の課税売上高が1,000万円以下となる場合

○平成19年分の消費税の確定申告は必要です。

○平成21年分の消費税については課税事業者ではなくなりますので、消費税の「納税義務者でなくなった旨の届出書」を提出してください。「課税事業者選択届出書」を提出されている方は該当しません。